

若手会員の会 活動報告

<http://j.weld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

平成 26 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

若手会員の会運営委員会 副委員長 尾崎 仁志 (三重大学)

Report: WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2014

去る 4 月 23 日、平成 26 年度春季全国大会において、若手会員の会イブニングフォーラムを開催いたしました。昨年度は、外部から講師をお招きし、溶接接合における評価・解析技術の動向についてご講演いただいたところ、大変盛況でした。今回は、若手会員の会で実施しているアンケートにおいて要望が多かった「溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状」について、昨年度と同様、経験豊富な企業の研究者・エンジニアの方々にご講演いただきました。

テーマ：「溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状」
日 時：平成 26 年 4 月 23 日 (水) 17:00 ~ 18:55
場 所：東京ビッグサイト 会議棟 6 階 609 会議室
(第 3 会場)

プログラム：

17:00 ~ 17:05 開会の挨拶
広島大学 大学院工学研究科 門井 浩太 氏
17:05 ~ 18:35
講演 (各 30 分程度)
「UT に関する実適用事例の紹介」
(株)IHI 山口 雄一 氏
「インプロセスモニタリング技術」
(株)東芝 藤田 善宏 氏
「大型溶接構造物製作における非破壊検査技術の紹介」
(株)ニチゾウテック 新村 直人 氏
18:35 ~ 18:50 総合討論

18:50 ~ 18:55 閉会の挨拶

三重大学 大学院工学研究科 尾崎 仁志

参加者：53 名

開会の挨拶に続き、1 件目のご講演として、(株)IHI の山口雄一氏より超音波探傷試験 (UT) に関する実適用事例についてご紹介いただきました。非破壊試験の概要をはじめ、LNG 貯槽の内槽材である 9%Ni 鋼の溶接部に適用される超音波 TOFD 法の原理とその信号処理方法についてご説明いただきました。また、膨大な板厚内部の欠陥情報を短時間で取得することを可能にした、超音波フェーズドアレイ法についてもご紹介いただき、その



写真 1 フォーラム会場の様子

実適用事例についても分かりやすくご説明いただきました。

2 件目のご講演として、(株)東芝の藤田善宏氏よりインプロセスモニタリング技術についてご紹介いただきました。溶接後の欠陥補修にかかる時間とコストの抑制のために開発された溶接インプロセス品質管理システムに関して、それを構成する溶接条件モニタリング、溶融池形状センシング、溶接ビード形状センシング、及び内部欠陥ビジュアル化の各システムについて丁寧にご説明いただきました。さらに、内部欠陥のビジュアル化に採用されている、パルスレーザを用いたレーザ超音波 UT (LUT) 法についてもご紹介いただきました。

3 件目のご講演として、(株)ニチゾウテックの新村直人氏より大型溶接構造物製作における非破壊検査技術についてご紹介いただきました。船舶製造時、压力容器製造時、及び原子力関係機器の各非破壊検査の概要について、多くの事例を交えてご紹介いただきました。その中で、大型溶接構造物製作においては各検査手法の適用方法、適用箇所、規格等に合わせた要領が求められていること、及びそれらの諸条件を考慮した上で最適な手法を適用することにより、健全な検査を実施することができるということが提示されました。

総合討論の時間においても活発な質疑討論が続き、閉会の挨拶の後、参加者全員で集合写真を撮影し、本フォーラムは無事に終了となりました。

今回のイブニングフォーラムは参加者が 53 名と過去



写真 2 フォーラム終了後の集合写真

最大規模となりました。また、質疑討論の時間には多くのご質問、コメントなどを会場の皆様からいただき、非常に有意義なフォーラムであったと思います。最後に、ご講演いただきました 3 名の講師の皆様へ改めて感謝の意を表するとともに、本フォーラムを開催するにあたってご尽力いただきました若手会員の会の皆様、ご参加いただいた皆様、及び関係各位に心より御礼申し上げます。今後も若手会員の会に幅広いご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

読者の **Goiken-bako** (御意見箱) 受付中! 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送または FAX でお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号 1 名様に Quo カードを差し上げます。

◆送付先： 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20
溶接会館 6F

FAX: 03-5825-4331
(Subject に "Goiken-bako" と御記入ください)

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名、フリガナ、年齢、溶接学会入会年、所属、住所 (Quo カード送付先)
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。()
- (3) 「自由編集ページ」についてのご意見・ご感想。
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事 (ページ番号でお答えください)。
- (4-2) 今月の溶接学会誌についてのご意見・ご感想。
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事。
- (6) その他、若手会員の会、溶接学会の各種活動についてのご意見・ご感想。